




| | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
|  <p>めぶきフィナンシャルグループ</p> | |
| 本店所在地 | 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号 |
| 本社所在地 | [水戸本社] 茨城県水戸市南町二丁目5番5号 [宇都宮本社] 栃木県宇都宮市桜四丁目1番25号 |
| 資本金 | 1,174億円 |
| 設立日 | 2008年4月1日(2016年10月1日商号変更) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 プライム市場(証券コード:7167) |
| 格付 | A+(格付投資情報センター) |

| | |
|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
|  | |
| 創立 | 1935年7月30日 |
| 本店 | 茨城県水戸市南町二丁目5番5号 |
| 資本金 | 851億円 |
| 店舗数 | 国内:180店舗(本支店153,出張所27) 海外:4駐在員事務所(上海、シンガポール、ニューヨーク、ハノイ) |
| 従業員数* | 3,059名 |
| 格付 | A+(格付投資情報センター) A3(ムーディーズ) |

| | |
|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
|  | |
| 創立 | 1895年10月1日 |
| 本店 | 栃木県宇都宮市桜四丁目1番25号 |
| 資本金 | 1,350億円 |
| 店舗数 | 国内:134店舗(本支店107,出張所27) 海外:2駐在員事務所(香港、バンコク) |
| 従業員数* | 2,448名 |
| 格付 | A+(格付投資情報センター) |

*従業員数からは出向者等を除いています。



店舗網

国内：314店(246店) 海外：6か所

| | 常陽銀行 | 足利銀行 |
|-----------|------------|------------|
| 茨城県 | 144店(97店) | 7店(5店) |
| 栃木県 | 8店(5店) | 93店(82店) |
| 茨城県、栃木県以外 | 28店(26店) | 34店(31店) |
| 合計 | 180店(128店) | 134店(118店) |

※()内の営業所数は、店舗内店舗方式により統合を行った営業所を除いた店舗数です。

株主還元方針

利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を基本とし、配当性向は2027年度までに40%以上への到達を目指します。

また自己株式取得は、市場動向や業績見通し等に加え、成長機会の機動的な捕捉に備えた資本活用も考慮したキャピタル・マネジメントに基づき機動的に対応いたします。

1株当たりの配当

(2026年度1株当たり12円増配予定。配当性向は1年前倒しで40%水準へ引上げ)めぶきフィナンシャルグループ

| | 中間配当 | 期末配当 | 年間配当 | 配当性向 |
|------------|--------|--------|--------|-------|
| 2026年度(予定) | 20.00円 | 20.00円 | 40.00円 | 39.5% |
| 2025年度(実績) | 12.00円 | 16.00円 | 28.00円 | 31.4% |

株主優待(地元特産品等の贈呈)

対象となる株主さま 毎年3月末日を基準日とし、当社株主名簿に記録された1,000株以上保有の株主さまのうち、継続して1年以上保有する株主さま*を対象といたします。

| 保有株式数 | 特産品の金額目安 |
|-------------------|----------|
| 1,000株以上5,000株未満 | 2,500円相当 |
| 5,000株以上10,000株未満 | 4,000円相当 |
| 10,000株以上 | 6,000円相当 |

*継続して1年以上保有する株主さまとは、毎年の基準日(3月末日)とその前年の3月末日及び9月末日の当社株主名簿に、同一株主番号で1,000株以上の保有が連続して記録されている株主さまといたします。

株式の概要

(2026年3月31日現在)

| | |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 証券コード | 7167(東京証券取引所 プライム市場) |
| 一単元の株式数 | 100株(証券市場での売買単位) |
| 定時株主総会 | 毎年6月に開催します。 |
| 配当金のお支払 | 期末配当及び中間配当を行う場合は取締役会の決議により配当金基準日の株主さまにお支払いいたします。 |
| 基準日 | 定時株主総会:毎年3月31日 期末配当:毎年3月31日 中間配当:毎年9月30日 |
| 公告方法 | 電子公告といたします。 電子公告掲載URL:https://www.mebuki-fg.co.jp/ ただし、事故やその他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、茨城新聞及び下野新聞並びに日本経済新聞に掲載いたします。 |
| 株主名簿管理人 特別口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 |
| 株式事務取扱場所 | 【郵送物送付先・お問い合わせ先】 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 ☎0120-232-711 (ホームページアドレス)https://www.tr.mufg.jp/daikou/ |

当社ホームページ「株主・投資家の皆さまへ」はこちら

https://www.mebuki-fg.co.jp/shareholder/



MINI DISCLOSURE
2026

2026年3月期 事業のご報告
(2025年4月1日 ~ 2026年3月31日)

トップメッセージ



取締役社長 秋野 哲也 取締役副社長 清水 和幸

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
現在、地域金融機関を取り巻く環境は、「金利のある世界」が定着しつつある歴史的な転換期にあります。金融仲介という銀行本来の機能が再び収益機会を生み出す好機である一方、物価の高騰や地政学リスクの高まりといった先行き不透明な状況にあります。また、地域経済においては、少子高齢化の進行や人手不足などにより、社会課題が様々な形で顕在化しています。

こうした中、当社グループは、伝統的な銀行領域を深化させるとともに、資産運用、事業承継・M&A、スタートアップ支援といった総合金融サービスや新事業領域を強化し、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」として、その役割をより一層発揮してまいります。

当社グループは、「持続的成長に向け、進化を加速する期間」と位置づけた第4次グループ中期経営計画のもと、地域産業の成長支援やGX・DXの推進など、重要課題（マテリアリティ）への取り組みを加速させております。この活動により、地域課題の解決を通じた「社会的価値」の創出と事業活動を通じた収益力の強化によって「経済的価値」の双方を向上させ、持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

本年10月1日、当社グループは創立10周年という大きな節目を迎えます。創立10周年にあたり掲げた「色づく未来を、ともに。」のもと、ステークホルダーの皆さまとともに、多様な個性が重なり合い、新しい価値を共創していく決意です。

今後とも、お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまの期待にお応えできるよう、グループの創意を結集し、地域のゆたかな未来の創造に取り組んでまいります。引き続き、一層のご厚誼ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月吉日
株式会社めびきフィナンシャルグループ
取締役社長 秋野 哲也
取締役副社長 清水 和幸

記念特設サイトはこちら



第4次グループ中期経営計画 (2025年度～2027年度)

基本戦略

■ 社会課題解決戦略

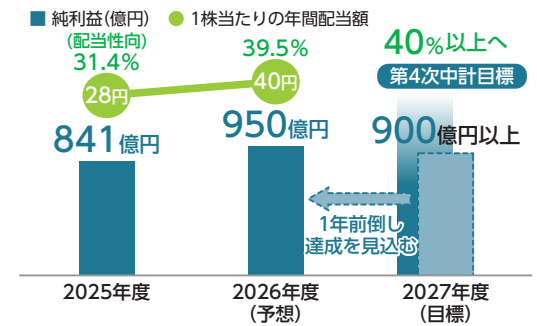
■ 事業ポートフォリオ戦略

■ 経営基盤強靱化戦略

第4次グループ中期経営計画進捗

| 経営指標 | 2024年度 | 2025年度 | 最終年度目標 (2027年度) |
|---------------------|--------|---------------------|-------------------------|
| 連結ROE (純資産ベース) | 5.9% | 8.2% | 9.0%以上 ^(※1) |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 582億円 | 841億円 | 900億円以上 ^(※1) |
| 付加価値額 ^{※2} | — | +3.2% ^{※3} | 持続的な増加 |

純利益と配当の推移



業績ハイライト^(※4)

(2026年3月期)

| 預金残高 | 貸出金残高 | コアOHR ^(※5) | 自己資本比率 |
|------------|------------|-----------------------|---------|
| 17兆8,598億円 | 14兆1,568億円 | 49.0% | 12.30% |
| 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 |
| +2,521億円 | +7,975億円 | ▲5.2%pt | +0.1%pt |

(※1) 2027年度の国内政策金利は0.75%を想定
 (※2) 取引先の成長支援に当社グループが主体的に関与した先の付加価値額。
 (※3) 2025年9月末を基準とした前年同月比での試算値。

サステナビリティ長期KPI

(2026年3月期)

| サステナブルファイナンス | CO ₂ 排出量 (Scope 1, 2) | 代理以上に占める女性比率 |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------|
| 2兆2,417億円(累計) (うち、環境分野 1兆6,181億円) | 速報値 6.5千t-CO ₂ 2013年度比 ▲70.9% | 25.0% 前年比+2.1%pt |
| 目標 | 目標 | 目標 |
| 2021年度～2030年度 累計“3兆円” (うち、環境分野 2兆円) | 2030年度の “排出量ネット・ゼロ” | 2028年3月末 27%以上 |

(※4) 銀行合算:預金残高、貸出金残高、コアOHR 連結:自己資本比率
 (※5) 経費+コア業務粗利益(業務粗利益^(※6))-国債等債券損益
 (※6) 投信解約損益および先物・オプション損益を除く

TOPICS

スタートアップの成長を後押し！
～スタートアップへの2つの伴走支援(資金供給と「つなぐビジネス」)～

常陽銀行は、革新的な技術を持つスタートアップへの支援を強化しています。
2025年4月には専門組織「スタートアップファイナンスグループ」を新設。実績や担保にとらわれず未来の可能性を評価する柔軟な融資手法により、ヘルスケアやAIなど社会課題を解決する最先端分野への資金供給を着実に拡大しています。



また、めびきフィナンシャルグループの広範なネットワークを活用し、地元企業とのマッチングや海外進出支援など「つなぐビジネス」を展開。次世代産業の成長に伴走しながら、持続可能な地域社会を共に創り上げていきます。

・常陽銀行におけるスタートアップ支援等の取り組み
<https://www.joyobank.co.jp/enterprise/innovation/finance/>

IT・デジタル技術で地域企業の課題を解決！
～新会社「ウイングITソリューションズ」が始動～

地域企業の深刻な人手不足への対応や生産性向上などの課題を非金融面で支援するため、2026年4月に、WEB・システム開発等を手がける新たなグループ会社「ウイングITソリューションズ」が始動しました。



足利銀行が有する強固な顧客基盤と、同社の専門的なITノウハウを融合させることで、従来の金融の枠組みを超えた伴走支援を展開します。ホームページの制作から、業務の効率化に向けたシステム開発まで、地域企業のDXを強力に後押しし、地域経済の持続的な成長へとつなげてまいります。